

推薦：在日ブラジル大使館 日本原水爆被害者団体協議会 ノーモア・ヒバクシャ記意遺産を継承する会

ブラジルに 生きる ヒバクシャ

ドキュメンタリー映画
スタンダード 78分
ステレオ



JAPAN FOUNDATION

広島の被爆者森田隆は、1956年に家族を引き連れて新天地ブラジルに渡る。サンパウロを拠点に、海を渡った被爆者たちと、日本政府相手に援護を求めて在ブラジル原爆被爆者協会を立ち上げる。やがて、森田たちはサンパウロ市内学校で証言活動をはじめ、その活動が人々の心を捉え、ブラジル国内の核被害者との連帯を紡いでゆく。

原題は、08:15 DE 1945 ブラジルでの公開は、2011年。

撮影 脚本 編集 監督：ロベルト・フェルナンデス

1960年、アルゼンチン、ブエノスアイレス市で生まれ。

製作：レオナルド・フランコ ロベルト・フェルナンデス

音楽：クラウヂオ・ゴメス 製作：モヴィメント ファウンデーション

日本公開版 演出・編集：有原誠治

特別協力：ブラジル被爆者平和協会



08:15 DE 1945

「ブラジルに生きるヒバクシャ」 森田隆さん、渡辺淳子さん、サンパウロより来る!!

上映と交流の夕べ in ねりま

12月1日(月)より18:30~21:00 練馬区庁舎アトリウム地下多目的会議室 会費：1000円

子ども・高校生は無料です。

ヒロシマ・ナガサキも ブラジルの核被害もフクシマも
みなひとつの問題なのです

★核兵器も原発もいらない!

ブラジルで活躍する広島の被爆者
森田さんと渡辺さんが見えになります。
ブラジルでの核被害も深刻です。
その被害者と移民となった広島の被爆者が
手をたずさえてたたかうドキュメンタリーを
鑑賞して、いっしょに交流します。

協賛団体

原水爆禁止練馬委員会 原水爆禁止練馬協議会
練馬区労働組合総連合 東京土建練馬支部
東京都教職員組練馬支部 練馬平和委員会
新日本婦人の会練馬支部
アニメーションミュージアムの会

主催団体

ねりま九条の会 練馬・文化の会
ブラジルに生きるヒバクシャ上映実行委員会

★連絡先 〒177-0033 東京都練馬区高野台3-11-12 采明ビル2b ブラジルに生きるヒバクシャ上映実行委員会

☎：03-6915-9281 fax:9282 Email:canima2b@gmail.com <http://brazilniikiruhibakusya.blogspot.jp/>



地球の反対側で、核兵器廃絶を求めて活躍する日本の被爆者たちの活動と
ブラジルにおける核被害の実態に迫ったドキュメンタリー

ブラジルに生きる ヒバクシャ

原題
「08:15 DE 1945」

広島で21歳のときに被爆した森田隆は、1956年に妻子とともにブラジルに渡る。

サンパウロでスーパーマーケット「すきやき」が成功。そこを拠点に、移民となった在ブラジルの被爆者たちに呼びかけて、日本政府に援護を求める活動を開始。1984年に在ブラジル原爆被爆者協会を創設。2008年にブラジル被爆者平和協会へと改名。

02年、在外被爆者の援護を求める訴訟に参加し、健康管理手当の支給を勝ちとった。そして、森田たちはサンパウロ市内の学校で被爆体験の証言活動を重ね、子どもたちや教師、そして広範な市民たちの信頼と敬愛を得て来た。

作品の後半では、ブラジルのゴイアニア市でおきたセシウム137事故など、ずさんな核放射線物質管理の実態とその被害者たちの様子を生々しく報告している。そして、その被害者たちにとって、移民となってブラジルで生き抜いた日本の被爆者たちの存在が励ましとなっている様子が紹介されている。

世界中が核に汚染された現代において、広島・長崎の被爆者の体験や生き様が極めて先駆的で重要なものであることを伝えてくれる貴重な作品。

ドキュメンタリーの製作には、ブラジル日本移民百周年記念協会、ブラジル日本移民史料館、ブラジル被爆者平和協会、ブラジル広島文化センターなどが協力。国際交流基金が支援。

ゴイアニアのセシウム事故

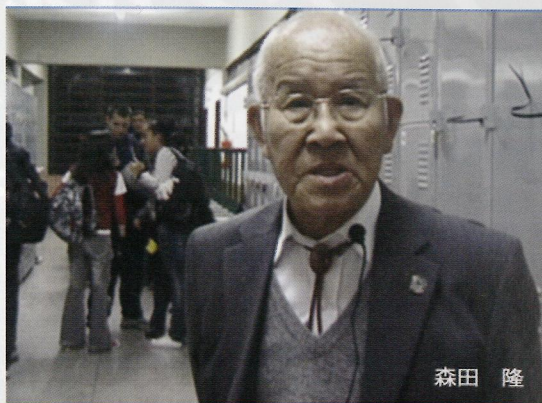
1987年の9月、廃院に放置されていたセシウム(Cs137)線源の入った回転照射体が2人の若者により持ちだされ、環境放射能汚染と多数の人々の被曝が生じた。約112800名の住民の検査が行われ249名の汚染者。6歳の少女、38歳の女性、22歳と18歳の男性、計4人が急性障害で死亡。1名は腕を切断。

モナザイト(monazite)

鉱物(リン酸塩鉱物)の一種。モナズ石とも呼ばれる。トリウムやウランなどを含むことが多く、弱い放射能を持つ。ブラジルではモナザイトを原子力物質として輸出を禁じ、トリウムウランを抽出し、残ったレアアースを塩化物の形で輸出。日本はこれを輸入している。

EETEC* TAKASHI MORITA

サンパウロ市民は、長年に渡って被爆の証言活動を続けているブラジル被爆者平和協会森田会長の功績を高く評価。2011年10月に、サンパウロ州立職業高校(技術専門学校)の名称に森田隆の名を刻んで「EETEC* TAKASHI MORITA」とした。



森田 隆



渡辺淳子

ブラジルに生きるヒバクシャ
上映と交流のタペinねりま
12月1日練馬区役所地下多目的会議室

プログラム

- 18:00 開場
- 18:30 挨拶と作品紹介
- 18:45 『ブラジルに生きる
ヒバクシャ』上映
- 20:10 トークと交流
森田 隆
渡辺淳子
- 21:00 閉会

会費：1000円 子ども～高校生：無料 ★練馬駅から徒歩5分 西武池袋線、都営地下鉄大江戸線が利用できます。



★DVD 好評販売中！！



¥3500円(税込)
このDVDは家庭用です。

「ブラジルに生きるヒバクシャ」製作普及委員会 Email:canima2b@gmail.com

〒177-0033 東京都練馬区高野台3-11-12 采明ビル2b ☎03-6915-9281 Fax: 9282